

「防災 4.0」未来構想プロジェクトの開催について

〔平成 27 年 12 月 17 日〕
〔内閣府特命担当大臣（防災）決定〕

1. 趣旨・目的

地球温暖化に伴う気候変動に関する科学的知見を踏まえ、今後激甚化が予想される災害の様相を示すとともに、国民にとり真に必要なかつ効果的な防災対策を検討するため、内閣府特命担当大臣（防災）（以下「防災担当大臣」という。）の下に「『防災 4.0』未来構想プロジェクト」（以下「プロジェクト」という。）を開催する。

2. 構成員

- (1) プロジェクトは、別紙に掲げる有識者をもって構成し、防災担当大臣が開催する。防災担当大臣は、必要と認める場合、構成員を追加することができる。
- (2) プロジェクトの座長は、防災担当大臣が務めることとする。
- (3) プロジェクトの座長は、必要に応じ、その他の関係者の出席を求めることができる。

3. 庶務

プロジェクトの庶務は、内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災計画担当）において処理する。

4. その他

前各項に定めるもののほか、プロジェクトの運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

「防災4.0」未来構想プロジェクト
有識者委員名簿

飯尾 潤	国立大学法人政策研究大学院大学教授
江守 正多	国立研究開発法人国立環境研究所 地球環境研究センター気候変動リスク評価研究室長
加藤 秀樹	一般社団法人構想日本代表理事
黒川 清	国立大学法人政策研究大学院大学客員教授
住 明正	国立研究開発法人国立環境研究所理事長
高瀬 香絵	国立研究開発法人科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター特任研究員
船橋 洋一	一般財団法人日本再建イニシアティブ理事長
松井 孝典	千葉工業大学惑星探査研究センター所長

(平成27年12月現在、敬称略、五十音順)